

(仮称)三戸プロジェクト
環境影響予測評価実施計画書に係る
答申案

令和6年1月 25 日

環影審 第 号
令和 年 月 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県環境影響評価審査会
会 長 一ノ瀬 友博

(仮称) 三戸プロジェクト 環境影響予測評価実施計画書について (答申)

令和5年10月26日付け環第41号で諮問のありました標記のことについて、当審査会において慎重に審査しましたところ、別紙の結論を得ましたので答申します。

I 対象事業の概要

1 事業の名称

(仮称) 三戸プロジェクト

2 事業者

京浜急行電鉄株式会社

3 事業の目的

事業実施区域は、沿線最南端である三崎口駅に近接しており、土地利用計画「三戸地区宅地開発区域」が定められているが、現在、三浦市において利活用が望まれる「低・未利用地」に位置づけられている。そこで、三浦半島南部の玄関口としてふさわしい賑わいを創出する街づくりを行うため、土地区画整理事業により、ミクストユース（複合利用）型の市街地の形成を目指した基盤整備を行うものである。

4 事業の内容

本事業は、後記5の事業実施区域の土地について、事業者が実施する土地区画整理事業である。

教育施設や住宅等としての土地利用を想定した基盤整備を行うため、造成工事（盛土・切土工事等）、インフラ工事（排水管路、上水道、電気及びガス等の地下埋設工事等）、道路工事、緑地・公園工事を実施する。

5 事業の実施区域

事業実施区域は、三浦市初声町三戸及び三崎町小網代地内に位置する、面積約 50.18 ヘクタールの範囲である。

6 事業実施区域及びその周辺の環境

事業実施区域は、三崎口駅から南に約 400 メートルの距離に位置する。当該区域は市街化区域に指定されており、現況は大半が発生土処分場の造成地であるが、その他に緑地等が残されている。

当該区域の東側に一般国道 134 号が接し、西側に農地造成事業により整備された農地が存在しているほか、南側には小網代近郊緑地特別保全地区として指定されている小網代の森が隣接している。

なお、事業実施区域に最も近い環境保全に留意を要する施設として、医療機関が存在している。

II 審査結果等について

1 審査経緯

令和5年9月7日に、環境影響予測評価実施計画書（以下「実施計画書」という。）が知事に提出され、事業者は、工事実施時及び供用時の環境影響について、水象、植物・動物・生態系など13項目の評価項目を選定した。

これを踏まえ、当審査会は、令和5年10月から令和6年1月までの間に4回、実施計画書について環境の保全の見地から、評価項目の選定や調査、予測及び評価（以下「調査等」という。）の手法などについて審査を行った。

2 審査結果

対象事業は、広大な土地で行う土地区画整理事業であるが、事業実施区域の周辺には、幹線道路である国道や大規模農地があるほか、多様な生態系が形成されている自然豊かな小網代の森がある。

事業者は、こうした環境に配慮する計画としているが、調査等に当たっては、事業実施に伴う地形改変による集水域の変化、動植物への影響や自然と触れ合える場の状況等を、適切に把握する必要がある。

また、事業者は、詳細な工事計画等は未確定であるとしていることから、計画を具体化するに当たっては、適宜、関係住民等に丁寧に説明する必要がある。

以上